

一般質問

観光振興

橋隆文議員

原生花園を含む本町の観光客入り込み数が年々減少しており、チャーター便撤退、飛行機機材の縮小に加え、東日本大震災の影響も懸念されます。観光振興の取り組みと、地域関係団体との協議、取り組みについて伺います。



一般質問する 橋隆文議員

答 林 直樹町長

本年8月末の観光客入り込み数は、昨年と比較して1割程度減少しています。

主な要因は、東日本震災や円高、日本航空の機材縮小による減少と分析しています。観光振興の取り組みは、小清水町観光協会が主体となり、原生花園での無料レンタサイクルの配置や、周知活動として札幌市等で地場産品の販売や観光PRを行っています。

地域関係団体の連携は、海外チャーター便誘致活動、東京都での特産品フェアへの参加、また、個人客を対象に周遊バスを運行する着地観光の周知活動を展開する予定です。大変厳しい状況下でありませんが、関係機関や近隣市町との連携を密にして、引き続き推進していきたいと思っています。

小清水町役場東京事務所

問 工藤 孝一 議員

小清水の農産物、加工品等の販売対策及び農業分野の労務者対策、担い手対策など、人材の交流と確保を目的として、小清水町役場東京事務所を設置してはどうでしょうか。



一般質問する 工藤孝一議員

答 林 直樹町長

地方自治体の東京事務所は、ピーク時で15自治体が開設していましたが、現在は北海道東京事務所他、8市2町が開設しています。

首都圏に事務所を構えるとなると、重いコスト負担が生じるため、大きな費用対効果が見込めないと、小規模自治体では困難であると考えます。

しかし、小清水町の魅力を首都圏に限らず全国に情報発信することは、観光振興だけでなく地場産品の付加価値を高めるなど地域の活性化に大きな効果が期待できますので、ホームページなど情報通信技術を活用し、情報発信に努めていきたいと思っています。

小清水町奨学金制度

問 八木勝正議員

小清水町奨学金制度について、貸付要件に所得制限がありますが、所得基準額の引き上げを行うてはどうでしょうか。



一般質問する 八木勝正議員

答 渡邊 等 教育長

平成23年度は新規7件、継続8件の合計15件の貸付をしています。

貸付要件の緩和については、基金残高の推計を行い、近隣町村の状況を踏まえながら総合的に検討したいと思っています。

町民の教育支援に対する様々なニーズに対応するため、国や民間、学校の奨学金制度を紹介するなど、個々の状況に即した教育の機会均等の提供に取り組んでいきたいと思っています。

書籍書庫

問 大石誠示議員

町の書籍書庫には、重要書類も多く保管されていますが、保管場所として最適とは思えません。今後の改善計画等を伺います。

答 林 直樹町長

ご指摘のとおり老朽化が進んでおり、保管スペースも狭く設置後書類サイズも変わっており、書類の保管場所としては適していません。これまでも書庫の改修について役場内部で検討してきましたが、それ相応の予算措置が必要となります。

現在小学校を建築中であり、中学校の建設も控えていますので、直ちに着手はできませんが、今後の整備に向け検討したいと思っています。

河川の整備

問 森 浩 議員

ここ数年の間、異常気象による災害が日本中で頻繁に起きています。

当町を流れる止別川、ポン止川について、氾濫等における市街地域の危険性を伺います。

答 林 直樹町長

本町を流れる止別川・ポン止別川は、2級河川で道の管理下ですが、財産は国、流水管理は道、法面等の施設管理は町となっています。

昨年、網走開発建設部において機能調査が行われ、5段階評価で上から2番目に良い、軽微な変状が認められる状態という評価報告でした。

近年、災害の発生が少ない地域でも決して安心というわけではありません。

中州や川幅の狭くなっている箇所等もありますので、今後国、道、関係機関と連携し、町民の皆さんが安心して生活できる河川管理をしていきたいと思っています。

介護予防

問 森 浩 議員



一般質問する 森 浩議員

介護予防の重要性が論じられていますが、町民の方々が要介護又は介護者にならないよう、町が行っている介護予防施策など伺います。

答 林 直樹町長

介護予防の取り組みとしては、老人クラブの方々を対象とした健康相談、健康指導を実施し、運動機能向上や閉じこもり予防、栄養改善などを行っています。

また、体力と健康維持を目的とした楽しく健康教室、スマートダイエット教室、スーパーズリムダイエット教室を実施し、高齢者などの方々が必要介護状

態等になることを予防することを通じて、一人ひとりの生きがいや自己表現のための取り組みを支援しています。

本年度は、来年度からの第5期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の策定年ですので、ニーズ調査を実施し、高齢者の生活状態や健康状態などを把握し、本計画を有する計画として策定し、今後重要となる介護予防施策を推進していきたいと思っています。

災害時の避難所

問 遠藤満夫議員



小清水町の耐震改修促進計画に避難所の指定が20ヶ所ありますが、その中に再編される小学校が4校含まれています。今後の防災対策と避難所対策を伺います。

書籍書庫

問 大石誠示議員

町の書籍書庫には、重要書類も多く保管されていますが、保管場所として最適とは思えません。今後の改善計画等を伺います。

答 林 直樹町長

ご指摘のとおり老朽化が進んでおり、保管スペースも狭く設置後書類サイズも変わっており、書類の保管場所としては適していません。これまでも書庫の改修について役場内部で検討してきましたが、それ相応の予算措置が必要となります。

現在小学校を建築中であり、中学校の建設も控えていますので、直ちに着手はできませんが、今後の整備に向け検討したいと思っています。

鹿柵の維持補修

問 大石誠示議員

平成11年から13年に設置された鹿柵について、近年、木柱の傷みが多くなってきており、対策を急ぐべきと考えますが。



一般質問する 大石誠示議員

答 林 直樹町長

鹿柵は、設置後10年以上経過し老朽化が進み、木柱の腐食が著しい状況となっています。

現在、平成24年度に向け小清水町鹿柵連絡協議会が主体となり、改修箇所の特定と改修費用の積算をする予定です。

鹿柵の補修工事は重要だと考えていますので、補助事業等オホーツク総合振興局と調整を図っていききたいと考えています。